

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第91期第1四半期
(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船越 義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田 弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第90期 第1四半期 連結累計期間		第91期 第1四半期 連結累計期間		第90期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		5,070,105		5,111,740		19,760,597
経常利益 (千円)		299,634		300,133		1,143,648
四半期(当期)純利益 (千円)		176,558		183,276		716,825
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		95,077		230,491		1,234,393
純資産額 (千円)		12,846,976		14,270,329		14,308,686
総資産額 (千円)		18,316,621		19,903,815		20,023,717
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		6.60		6.82		26.71
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		69.7		69.6		69.3

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から、円高修正や株価上昇など景況感に改善が見られたものの、欧州の金融不安や中国経済の減速が懸念されるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイのイヌリン製造子会社において、本稼働に向けた工場建設の推進に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,111百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益264百万円（同0.2%減）、経常利益300百万円（同0.2%増）となり、特別利益として投資有価証券売却益11百万円を計上した結果、四半期純利益は183百万円（同3.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高3,323百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益287百万円（同1.2%減）となりました。売上高は、販売価格が下落したものの、飲料向け液糖を中心に大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量が増加したことにより増収となりました。損益面では、原料糖の仕入コストは減少したものの、販売価格の下落や物流費等の販売費の増加により減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高1,637百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益33百万円（同22.0%増）となりました。売上高は、機能性食品素材「イヌリン」は前年同期ほどの大きな伸長は見られませんでした。連結子会社ユニテックフーズ(株)は、主力商品であるゼラチンが前期に引き続き好調に推移したのに加え、新規取引先の増加や拡販効果により、前年同期比で増収となりました。損益面では、イヌリン製造に係る原材料コストの減少や連結子会社ユニテックフーズ(株)における一般管理費の減少により、前年同期比で増益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高150百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益129百万円（同1.2%減）となりました。小規模賃貸住宅の稼働率が低下したことにより、前年同期比で若干ながら減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、19,903百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ3.5%減少し、8,376百万円となりました。これは主に棚卸資産の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1.6%増加し、11,527百万円となりました。これは主に建設仮勘定の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ5.7%減少し、3,504百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ6.6%増加し、2,128百万円となりました。これは主に長期借入金の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.3%減少し、14,270百万円となりました。これは主に四半期純利益を計上したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、12百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株で あります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,863,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,434,000	26,434	
単元未満株式	普通株式 451,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,434	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,863,000		2,863,000	9.62

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,291,486	2,249,938
受取手形及び売掛金	2 1,993,693	2 1,953,392
有価証券	322,085	322,088
商品及び製品	1,469,940	1,575,980
仕掛品	162,901	145,355
原材料及び貯蔵品	1,246,646	1,016,387
その他	1,191,729	1,116,280
貸倒引当金	2,911	3,165
流動資産合計	8,675,571	8,376,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	686,222	673,864
機械装置及び運搬具（純額）	193,074	182,667
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	623,883	875,588
その他（純額）	60,463	55,379
有形固定資産合計	3,612,479	3,836,335
無形固定資産		
のれん	793,787	766,790
その他	96,618	101,038
無形固定資産合計	890,406	867,828
投資その他の資産		
投資有価証券	4,671,323	4,649,619
関係会社長期貸付金	1,962,552	1,962,552
その他	281,637	281,484
貸倒引当金	70,252	70,262
投資その他の資産合計	6,845,260	6,823,393
固定資産合計	11,348,146	11,527,557
資産合計	20,023,717	19,903,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,269,306	1,408,167
短期借入金	1,261,196	1,192,696
未払法人税等	207,760	79,773
賞与引当金	120,180	54,894
役員賞与引当金	9,830	2,380
その他	848,824	766,624
流動負債合計	3,717,097	3,504,536
固定負債		
長期借入金	896,803	991,496
退職給付引当金	260,485	234,746
役員退職慰労引当金	164,893	171,641
資産除去債務	53,967	54,107
その他	621,784	676,958
固定負債合計	1,997,933	2,128,949
負債合計	5,715,031	5,633,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	9,691,308	9,605,737
自己株式	706,124	706,124
株主資本合計	13,039,815	12,954,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759,331	824,085
為替換算調整勘定	80,800	74,723
その他の包括利益累計額合計	840,131	898,809
少数株主持分	428,739	417,276
純資産合計	14,308,686	14,270,329
負債純資産合計	20,023,717	19,903,815

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,070,105	5,111,740
売上原価	3,972,472	3,996,804
売上総利益	1,097,633	1,114,935
販売費及び一般管理費	832,481	850,388
営業利益	265,151	264,547
営業外収益		
受取利息	12,208	12,638
受取配当金	24,539	22,565
持分法による投資利益	2,325	6,842
その他	4,600	3,835
営業外収益合計	43,674	45,881
営業外費用		
支払利息	7,592	5,317
その他	1,599	4,977
営業外費用合計	9,192	10,294
経常利益	299,634	300,133
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,540
特別利益合計	-	11,540
特別損失		
固定資産除却損	3,309	21
投資有価証券償還損	5,455	-
投資有価証券評価損	9,738	-
特別損失合計	18,503	21
税金等調整前四半期純利益	281,130	311,652
法人税、住民税及び事業税	69,340	89,338
法人税等調整額	35,686	45,333
法人税等合計	105,026	134,672
少数株主損益調整前四半期純利益	176,103	176,979
少数株主損失()	454	6,296
四半期純利益	176,558	183,276

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	176,103	176,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77,028	64,753
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	3,021	11,480
持分法適用会社に対する持分相当額	976	237
その他の包括利益合計	81,026	53,511
四半期包括利益	95,077	230,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,891	241,953
少数株主に係る四半期包括利益	1,814	11,462

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
太平洋製糖(株)	530,666千円	492,000千円
南米糖業(株)	115,956千円	115,956千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	15,223千円	13,638千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	39,394千円	34,692千円
のれんの償却額	26,997千円	26,997千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	267,426	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	268,847	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成 24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,295,522	1,622,815	151,767	5,070,105		5,070,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,332	395	277	4,004	4,004	
計	3,298,854	1,623,211	152,045	5,074,110	4,004	5,070,105
セグメント利益	290,649	27,356	131,227	449,232	184,081	265,151

(注) 1 セグメント利益の調整額184,081千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,323,596	1,637,994	150,150	5,111,740		5,111,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,293	4,084	277	7,654	7,654	
計	3,326,889	1,642,078	150,427	5,119,395	7,654	5,111,740
セグメント利益	287,151	33,367	129,691	450,210	185,662	264,547

(注) 1 セグメント利益の調整額185,662千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6.60円	6.82円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	176,558	183,276
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	176,558	183,276
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,742	26,884

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年5月17日開催の取締役会において、平成25年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主に
 対し、次のとおり期末配当を行うことを決議しました。

配当金の総額	268,847千円
1株当たりの金額	10.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年6月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月6日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽 鳥 良 彰

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 澄 直 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。